

上手にSNS活用！新聞をつくらう

教材：特別活動 学級活動(2)エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
責任をもって情報を発信・受信する際の注意点を調べて、
小学生に伝えるはがき新聞をつくりましょう。



指導のねらい

情報を発信する際には、他人や社会への影響を考えて、責任をもって発信することができる。
また、受信する際には、情報の信頼性を吟味し、正確な情報かどうかを判断することができる。



評価の例

情報を発信/受信する際の注意点が具体的に書けている。

- A・・・「どうしたら正しく情報を判断でき、上手に活用できるか」という「活用」を意識できている。
- B・・・情報の信頼性を吟味し、正確な情報かどうかを判断することで、トラブルへの自覚ができている。
- C・・・自分のことと自覚して考えられていない。



時間配分
(目安)

- ① 導入
「情報化社会の新たな問題を考えるための教材⑳」より「思ったままSNSに送信しただけなのに」(文科省)を視聴……………8分
- ② はがき新聞の作り方を説明……………5分
- ③ はがき新聞の制作……………30分
- ④ 振り返り・交流……………7分

学びを広げるポイント

- 情報モラルを取り扱った教材(道徳科)や校外学習等での訪問先の「口コミサイト」の情報の検証を行う活動(総合)等の教科横断的な小単元を組んで、学んだことを発信するためのはがき新聞づくりを行ってみましょう。



上手にSNSを活用！新聞をつくらう

責任をもって情報を発信・受信する際の注意点を調べて、小学生に伝えるはがき新聞をつくりましょう。



教材：特別活動 学級活動（2）エ

心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

準備するもの

GIGA端末、鉛筆、消しゴム、色鉛筆、水性ペン、定規

はがき新聞のつくり方

- 1 責任をもって情報を発信する際の注意点について考えながら、動画を見る。「これは伝えたいな」と思ったポイントはメモを取りましょう。
- 2 レイアウトの例を参考にして、新聞の大まかなレイアウトを決めましょう。

→次のページに続きます。



3 伝えたいことを3つ考えましょう。
困ったら以下の●から1つ、○から
2つ選びましょう。

○「ここに気をつけて！」
SNSでの発信／受信の際の注
意点

○「それは正しい情報？」
情報の信頼性の確かめ方／ど
こまでなら発信してもよいか

○「その気持ち わかる～」
否定的な意見や気持ちはどこ
までなら発信してもよいか

○「想像してみよう」
その情報を誰が見る？ どんな
気持ちになる？ 何が起きる？

○「口コミサイトってどこまで信
用できる？」
実際の自分の体験（検証結果）
を書いてみよう

●「どこまでならOK？」
責任をもって情報を発信する
際の注意点は？

●正しく情報を判断するために
気をつけることは？

4 新聞のタイトルを決めましょう。（す
べて書き終わった後に考えてもOK
です）

5 どうすればSNSを上手に活用できる
かを小学生にわかってもらうために、
かんたんなことばを使って、自分が
伝えたいことを順序だてて、記事（文
章）やイラストを書きましょう。

6 最後に自分の体験談を入れながら、
小学生に向けて（自分の弟や妹がい
れば、その子をイメージして）愛の
あるメッセージを書きましょう。